

第592号 2012年5月27日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか!
志村 たかよし です

先行営業施設
築地新市場

出店は、力のあるもの、自己責任で…!?
問われる「区の支援のあり方」

中央区は「築地市場移転」を前提に、場外市場に鮮魚や青果を販売する約百店舗の小売店が入る先行営業施設「築地新市場」（仮称）の開設を計画しています。

場内で営業する仲卸業者などの出店を想定し、開業は築地市場が「移転」する半年前をめざしています。

先行営業施設開設準備協議会

【設置目的】

先行営業施設「築地新市場」（仮称）開設にむけた諸条件の整備に係る具体的検討を行う。

【役割】

主に、出店者の募集条件や選定方法などのルール作り。設計への意見反映など。

【構成】

NPO法人築地食のまちづくり協議会（地元商店会、町会）水産仲卸、青果仲卸、料理飲食業組合、中央区関係部

「準備協議会」を設置

5月17日に開かれた、第5回「新しい築地をつくる会」で「先行営業施設開設準備協議会」を設置するという報告がありました。

「準備協議会」の構成には議員がふくまれていないのですが…。

先行営業施設の疑問点を質問

「つくる会」での私（志村）の質問概要については裏面を参照していただきたいのですが、日刊食料新聞では、次のように報道されました。

ある委員が「築地新市場」への懸念を次々に並べ立てた。いわく、豊洲のオープン前につくると言って、テナントはその間二重投資になるのをどうするのか、人の手当はどうするのか、荷さばき、駐車場はどうするのか、豊洲と競合して勝てるのか、開設者に赤字が出たら誰が負担するのか…。（5/21付）

このような質問に対しての鈴木章夫氏（NPO法人築地食のまちづくり協議会理事長）の発言を同紙は次のように報道しています。

「困難を乗り越えて、成功するためには必死で努力する。それが商売つてもんだらう」「失敗を恐れるやつは『築地新市場』にはいらぬ」「中途半端な気持ちで場外に出てきたって、ついて来れっこないぞ」

はたしてこのような姿勢でいいのでしょうか。

場外市場の鮮魚マーケット構想や先行施設（築地新市場）構想は、仲卸業者の協力なしにはできません。仲卸の方々が商売するにあたって抱くであろう疑問や不安に対し、論理的な説明ではなく、「やる気」がない業者は必要ないと言いきるような態度では理解は得られないと思います。オブザーバー参加の東卸の理事の方や青果市場の代表の方たちは、どう受け止めたのでしょうか。

（裏面に続く）

第5回「つくる会」では、注目すべき発言が委員よりありました。



豊洲市場予定地にある汚染土壌洗浄プラント。新たな土壌汚染も浮上＝晴海埠頭から撮影

「築地新市場が赤字を出した場合だが負債を負うのか」について、新川有一氏（月島地区再開発防災対策協議会代表幹事）は「商売は自己責任」と述べました。

築地四丁目町会の岩間章町会長は私の質問を「築地を知らない人の発言」と切り捨てました。

私が青果仲卸で18年働いてきたと紹介したにもかかわらずです。

「築地を知らなければ発言する資格がない」というような言い方をされれば、活発な議論は保障されないのではないのでしょうか。

座長の古屋勝彦氏（中央区観光協会会長）は、私の二度目の発言を「もういいでしょう」と認めませんでした。2回3回と発言した委員もいたのに…です。

中央区は「築地新市場」の基盤

「つくる会」での質問概要

- ①築地市場閉場半年前の開設のため施設が先行営業しても築地市場は営業している。仲卸はどう対応するのか。新たな人手の確保と小売りのノウハウ求められる。いまでも大変な仲卸の経営の中で、リスクを冒してまで出店する判断ができるのだろうか。
- ②観光ツアーや観光客には、築地市場がなくなれば、豊洲新市場の方に関心を持つだろう。市場の解体工事をしている場所にわざわざ来るだろうか。場外市場の大手店舗などは、集客が減り営業の見通しが立たなくなれば、撤退することも十分考えられるが。
- ③先行営業施設が赤字になった場合、誰が負債を負うのか。出店業者が負担するのか。
- ④区の税金を、築地市場を守るために使うことは、中央区の経済効果の点も市場に関係する区民の点でも異論はないが、移転後の施設構想は、全区的なメリツトがあるとは思えない。特定の業者のために莫大な税金の投入が許されるのか。移転を進める東京都の負担でおこなうならまだしも、区の税金を使うことに区民のコンセンサスが得られるのだろうか。
- ⑤高速晴海線工事が行われれば先行施設は撤去しなければならぬと思うが。
- ⑥豊洲新市場建設の遅れは、先行営業施設へも影響する。豊洲では新たに汚染が見つかっている。また、新市場施設計画も市場関係者から異論が出ており、スケジュールが伸びる可能性も言われているが、どう考えているのか。

整備等に税金を投入するなどの支援を明らかにしてはいますが、今回の議論で明らかになった「力のある者」「築地を知っている人」「やる気のある」特定の業者が「自己責任」で商売する商業施設に、区民の税金を投入することがふさわしいのか、があらためて問われています。

「意見」「要望など、お気軽に」連絡ください(03)5561-9900